

CTC 循環腫瘍細胞・CSC 循環腫瘍幹細胞検査 セミナーへの追加講演のご案内

がん治療を個別化するための検査と治療のノウハウ

CTC 循環腫瘍細胞 / CSC 循環腫瘍幹細胞検査、
抗がん剤・分子標的薬・天然成分の感受性試験や
SOT アンチセンス治療の紹介

各位

来たる10月30日の講演に追加がありご報告申し上げます。

RGCC パパソティリオ先生からのご紹介で、急遽ドイツでがんを専門的に治療されるサノムニクリニク院長の Dr. F. Schilling が来日の上、講演されます。

Schilling 先生は RGCC 社の検査をもって個別化医療を導入、インスリン感受性療法、天然成分の点滴を始めとする統合的な治療を実践されています (<http://www.sanomni.eu>)。

先生は IVC、オゾン、ハイパーサーミア温熱療法、ケトンダイエットなど総合的に導入され、また RGCC 社の検査結果に出てくるアルテミシニン、クルクミン療法、B17、DCA ジクロロ酢酸などの天然成分を積極的に取り入れられています。これらの個別化医療における統合方法、注入方法、投与量など今後、さらに治療の内容の向上に役立つ生きた情報が得られると思われま

す。今回は予定の都合で SOT アンチセンス治療の実践方法と効果、症例に講演の主体がおかれま

す。Schilling 先生はほぼ全員の患者に SOT が有益な為、適用されるとの事で、臨床での総合的な適用方法をお聞きしたいと思います。

突然のご案内となり大変恐縮ですが、ぜひ、アメリカとはまたひと味違った本場ドイツのがんへの統合、オーソモレキュラー医療実践の生きた情報に触れて頂ければ幸いと存じます。

ぜひ、奮って聴講いただければ幸いと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

【今回その他セミナーで紹介される内容】日本で導入される先生方からの多くの質問に対応致し

ます。

〔遺伝子〕

- ・主たる遺伝子の変異・発現があった場合の影響と作用機序、治療における対処方法

〔SOT〕

- ・SOT の構造、構築方法、ターゲットの取り決め方
- ・効果を出す場合と出さない場合、その時の対処方法

〔天然成分〕

- ・天然成分のクラス 1、2、3 の検査方法
- ・様々な天然成分の検査のための量と濃度を標準化する方法

- ・パーセンテージで出てくる結果の数値の説明
- ・インビボとエックスビボの違い
- ・ラボで出た結果の臨床における投与量と投与の方法
〔実戦〕
- ・欧米における臨床での検査、抗がん剤、天然成分の活用方法
- ・治療の経緯と臨床の報告

従来の説明よりもさらにこれらの内容について深くお話ししてもらうよう当方からも依頼しております。

なお、29日（土）の喜多村先生によるベーシックセミナー後、18：00～19：30 同会場にて、パパソティリオ先生を囲んで質問を主体とした勉強会を行います。少人数で軽食を取りながらの会となります。会費は無料でございますので、ぜひ参加ご検討下さい。

また、ベーシックは今回29日（土）の喜多村先生による講演で網羅されますが、別途、過去にパパソティリオ先生が日本で行ったベーシックセミナーの録画（翻訳付き）とプレゼン配布資料をご希望の方にはご提供申し上げます。（3,000円+消費税・送料込み）

お忙しいとは存じますが、ご検討のうえ、ご参加の際はご一報頂ければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願い致します。

(株)デトックス
〒102-0085
東京都千代田区六番町 5-18 六番町ステートビル 1F
TEL: 03-5876-4511 FAX: 03-3222-5770
E-mail: info@detox.jp

* すでにお申し込みいただいている先生方には重複のご連絡となりますことをご容赦いただけますようお願い申し上げます。

記

日時：

- <第一日> 2016年10月29日（土） 14：30～18：00
18：00～19：30 質疑応答を含む勉強会
- <第二日> 2016年10月30日（日） 9：30～16：30
- * 開場は、第一日14時00分、第二日9時00分となります。

場所：ベルサール三田

〒108-6301
東京都港区三田 3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 1F
「三田駅」A1 出口徒歩 6 分(三田線・浅草線)
「泉岳寺駅」A3 出口徒歩 6 分(浅草線・京浜急行線)
「田町駅」三田口徒歩 8 分(JR 線)

http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_mita/access.html

演題：

第一日 14:30 ~ 18:00

演者： 喜多村 邦弘 先生（福岡 喜多村クリニック 院長）

演題：

- (1) CTC 循環腫瘍細胞、CSC 循環腫瘍幹細胞検査による個別化医療への導き。
 - * がん治療の個別化により、転移と再発の原因となる CTC と CSC の検証方法と、CTC、CSC の遺伝子レベルからの確な対処を臨床に導く検査の内容と説明。
 - * 検査結果から読み取れる予後の予想と検討される治療。
 - * リアルタイムで状態が判明すると同時に、検査による治療の効果判定とさらなる対処。
 - * 幹細胞による転移、再発の危険度を鎮静化させる為の SOT アンチセンス治療を導入する背景（マイクロアレイに発現している CTC、CSC 遺伝子の発現の抑制）。
 - * 臨床の報告。
- (2) CTC 検査の初回導入の方法、結果の読み方、がんの幹細胞に対し欧米で行われる天然成分を主体とした治療の導入方法。
 - * CTC、CSC を殺傷、アポトーシスへ導く欧米において導入される天然成分のプロトコールの建て方。
 - * 治療を3か月行ってから CTC、CSC のカウント検査による治療の効果判定。
（この SOT アンチセンス治療はがんの浸潤能、不死化、増殖、血管新生などに照準をあてますので、日本で活発に行われる樹状細胞治療の補完にもなり得ます。検査と同時に RGCC ラボはアンチセンス治療用製剤も受託しています。）
- (3) Dr. パパソティリオ医師によるベーシックへの補足。

勉強会 18:00 ~ 19:30 （同会場にて）

質疑応答を中心とした勉強会となります。軽食をご用意致します。参加費は無料です。ご参加の際は、事前に申し込み下さい。

第二日

<午前の部 - 1> 9:30 ~ 10:45

演者： Dr. Papatiriu Ioannis （医師、ギリシャ Research Genetic Cancer Centre ラボ代表）

演題：

- (1) 主要な遺伝子で変異と高い発現があった場合の説明と対処方法。
- (2) アンチセンス（SOT=支援的オリゴヌクレオチド治療）ラボからの情報
Q&A

<午前の部 - 2> 11:00 ~ 13:00

演者： Dr. F. Schilling （医師、ドイツのがん治療専門 ノムニククリニック院長）

演題：

- (1) ドイツにおける循環腫瘍細胞検査結果を用いた治療の実際。
- (2) 治療プロトコルの建て方、ドイツのクリニックにて効果の高い SOT 治療・臨床の基本から応用まで。
Q&A

<昼食> 13:00 ~ 14:00 天然成分に関するランチョンセミナー
ご昼食の用意があります。

<午後の部 - 1> 14:00 ~ 15:20

演者: Dr. Papatiriu Ioannis

演題:

- (1) がんの幹細胞に作用する天然成分の検査の内容
- (2) ラボスケールの天然成分検査結果の臨床への適用。

Q&A

<午後の部 - 2> 15:30 ~ 16:30

演者: 喜多村 邦弘 先生 (福岡 喜多村クリニック 院長)

演題: 日本における臨床での応用。

Q&A

参加費: 一名様

第一日: 15,000 円

第二日: 30,000 円

※ 第一日の参加費は、すでに RGCC 社検査を導入されている、もしくは弊社 8 月 21 日開催「CTC 循環腫瘍細胞検査・ベーシックセミナー」にご参加いただいた場合は、5,000 円とさせていただきます。

※ 参加をキャンセルなさる場合は必ず事前にご連絡下さい。

お支払: 事前に下記口座までお振込をお願い致します。

お手数ですが、振込人様名はクリニックの名称にてお願いいたします。医療法人の名称ですと、確認にお時間がかかる場合がございます。

みずほ銀行 沼袋支店 普通 2031695 カ) デトックス

※ 振込手数料はご負担願います。

申込み: (株) デトックスまで、クリニック名、参加者名、参加費領収書のあて名をご連絡下さい。

参加費は事前にお振込をお願い致します。

E-mail: info@detox.jp

Fax: 03-3222-5770

Tel: 03-5876-4511

【参考情報】

2013 年 9 月 19 日 (木) 放送 **NHK クローズアップ現代** (短編版)

がん“根治”の時代は来るか～“がん幹細胞”研究最前線～

※内容はがんの幹細胞に関連します。CTC と幹細胞に関する番組が生まれ、放送されたものでございます。

※下記リンクよりダウンロードの上ご覧下さいませ。

<https://www.hightail.com/download/cUJWTXRSZEs5RIIVV01UQw>